

志木市立志木第三小学校

お茶会体験



第6学年

特色

- 校舎内に和室を創設したことを機に、平成元年から継続されている志木第三小学校6年生対象の伝統ある本格的な体験活動となっている。
- 講師は、志木第三小学校の卒業生の保護者であり、現在は学校応援団の一員である。また、毎年第6学年の保護者も手伝っている。講師、保護者とも和装で参加してくださっている。

児童の感想

- お茶はちょっと苦かったけれど、実際に飲むことができて良かった。
- お茶碗の向きや茶道に使う道具、一つ一つの作法に意味があることなどを初めて知った。
- お茶会で、秋の季節感を感じることができた。

成果

- 普段は、なかなか体験できない日本の伝統的な文化である茶道についての理解が深まった。
- お茶のたて方を見るだけでなく、実際に茶道を体験することで、日本の文化のよさを実感することができた。